

## 「平成26年度 第1回 学校評価アンケート」の結果の集計

学校評価アンケートの集計結果を報告させていただきます。保護者の皆様には、1つの質問項目に対して「重要度」と「実現度」の2つを回答していただきました。

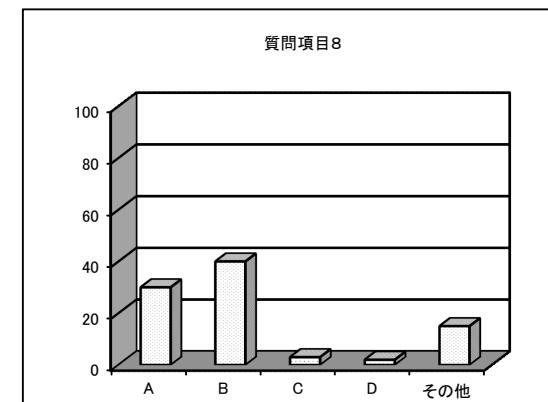
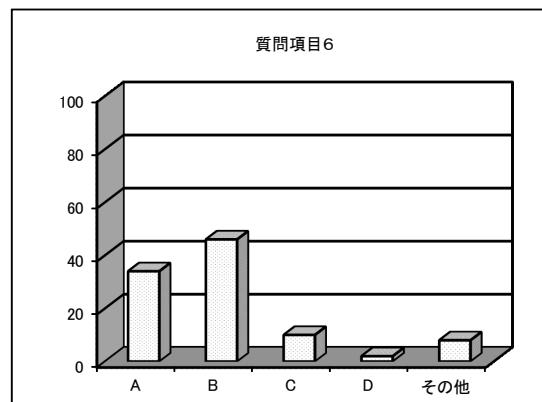
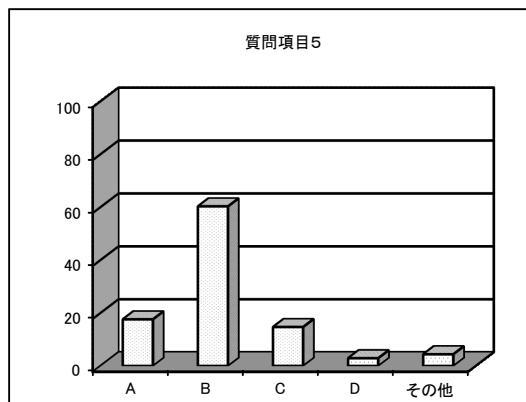
### 「平成26年度 第1回 学校評価アンケート」の結果

質問項目	重要度				実現度				
	重要である	やや重要である	あまり重要なない	重要ではない	よく出来ている(A)	大体出来ている(B)	あまり出来ていない(C)	出来っていない(D)	わからない(その他)
1 「教育目標」や「目指す子ども像」の実現に向けて取り組むこと	65.7%	28.3%	5.1%	1.0%	22.0%	52.0%	12.0%	3.0%	11.0%
2 朝の読書やぐんぐんタイム等に取り組むこと	63.4%	35.6%	1.0%	0%	35.0%	50.0%	8.0%	2.0%	5.0%
3 授業を、わかりやすく工夫すること	87.8%	12.2%	0%	0%	28.3%	57.6%	5.1%	0%	9.1%
4 学校行事や児童集会をよりよいものにしようと取り組むこと	62.6%	37.4%	0%	0%	26.5%	54.1%	9.2%	0%	10.2%
5 道徳や人権など心の教育に取り組むこと	80.0%	20.0%	0%	0%	20.0%	58.0%	12.0%	0%	10.0%
6 子どものもめごとや保護者の心配事に、適切に対処すること	73.5%	26.5%	0%	0%	34.0%	45.7%	9.6%	2.1%	8.5%
7 子どもの安全を守る取組を進めること	89.1%	10.9%	0%	0%	33.0%	50.0%	11.0%	1.0%	5.0%
8 部活動で子どものよさや可能性を伸ばすこと	70.1%	29.9%	0%	0%	30.1%	49.5%	3.2%	2.2%	15.1%
9 学校の取組や児童の様子を学校便りでお知らせすること	74.0%	24.0%	2.1%	0%	34.8%	55.4%	2.2%	4.3%	3.3%
10 校内や教室の環境を整備すること	64.4%	34.7%	1.0%	0%	29.6%	55.1%	8.2%	2.0%	5.1%
11 児童(わが子)の学習態度がよくなること	76.6%	22.3%	1.1%	0%	22.0%	51.6%	15.4%	5.5%	5.5%
12 児童(わが子)の家庭学習の習慣が身につくこと	75.0%	24.0%	1.0%	0%	23.7%	39.8%	22.6%	9.7%	4.3%
13 児童(わが子)の睡眠時間、朝食、排便などの生活習慣が身につくこと	79.6%	19.4%	1.0%	0%	22.8%	59.8%	12.0%	3.3%	2.2%
14 児童(わが子)に「み・そ・あ・じ」が身につくこと	80.0%	20.0%	0%	0%	21.8%	51.5%	17.8%	5.9%	0%

⑤道徳や人権など心の教育に取り組むこと  
身につくこと

⑥子どものもめごとや保護者の心配事に  
適切に対処すること

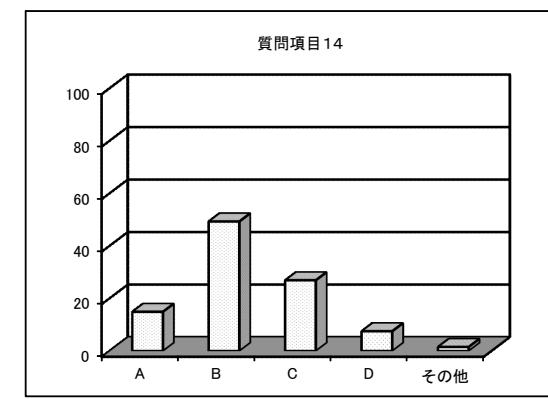
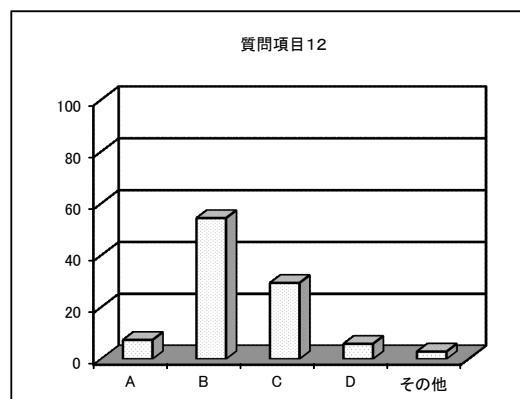
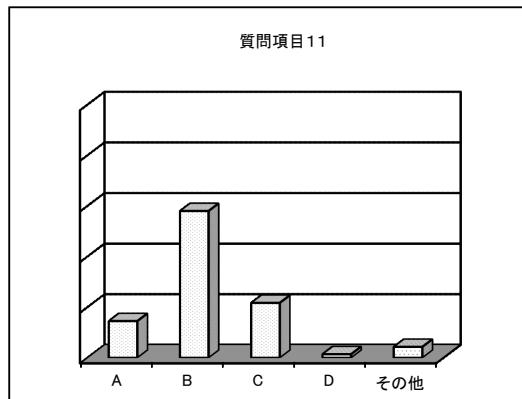
⑧部活動で子どもの良さや可能性を  
伸ばすこと



⑪児童(わが子)の学習態度がよくなること

⑫児童(わが子)の家庭学習の習慣が身につくこと

⑭児童(わが子)に「み・そ・あ・じ」が身につくこと



今回の学校評価アンケートの重要度の「高さ」に対して、「実現度」の低いものを見ましたところ、学校の取組としては「道徳教育・人権教育」、「保護者対応」、「部活動」の領域において、保護者の皆様のニーズが高いことが分かりました。また、家庭においては「学習態度」、「学習習慣」、「身支度・掃除・挨拶・規則正しい生活～みそあじ～」のニーズが高いことが分かりました。「道徳教育・人権教育」につきましては、国としても道徳を教科として位置付け、取り組んでいくことが決まっているように、子ども達の心を育む教育はますます重要性を増してきております。学校としても道徳の時間はもちろんのこと、様々な場面で子ども達の心を揺さぶり、豊かな感性と正しい人権感覚が身につくよう取組を進めていきたいと思います。2月3日(火)には、「人権学習」と「人権にかかわる懇談会」を予定しております。子ども達はもちろんのこと、保護者の皆様と共に人権の大切さについて学べればと思います。「保護者対応」に関しては、引き続き保護者の皆様のニーズを踏まえ、ご意見に耳を傾け、丁寧な対応を心掛けていきたいと思います。「部活動」に関しては、今年度児童数の減少に伴う教職員の定数減がありましたので、部活動数と活動時間の見直しを図りました。今後、二の丸北小学校との一次統合等で児童数と教職員数が増加しましたら、再度見直しを図っていきたいと考えております。

毎回の調査で上位に入ります「児童(わが子)の学習態度・学習習慣・みそあじ」につきましては、どれも学校だけの取組で身につくものではなく、保護者の皆様の協力なくして身につくものではありませんので、今後とも手を携えて粘り強く取り組んでいきたいと思います。ご協力よろしくお願ひいたします。

～学校評議員・地域の皆様の声より～

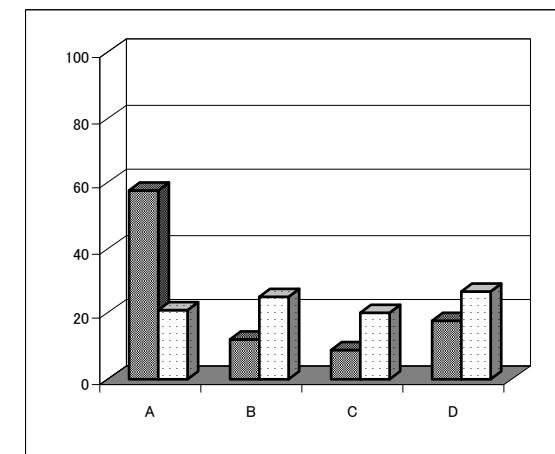
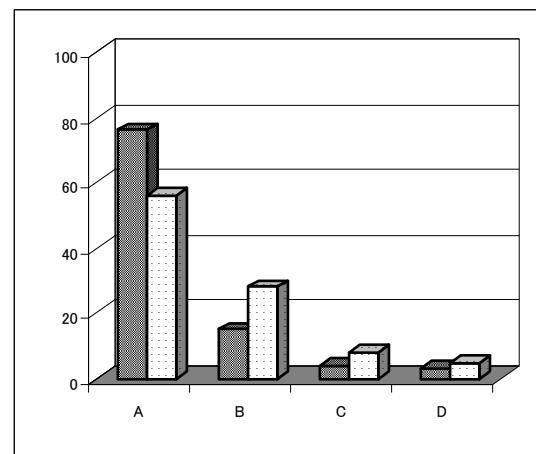
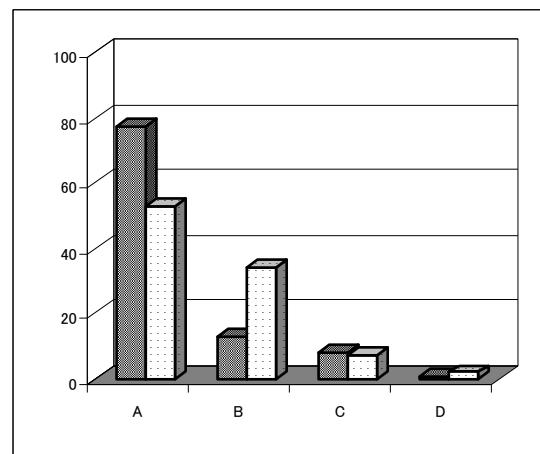
二の丸北小学校との一次統合、小中一貫教育校創設という大きな変革の中、今一度、地域や地域の子ども達を見つめ直して、改善していくなければいけないところ、大切にしなければいけないところを見極めて、地域や子ども達に聞われればと思います。

# 「平成26年度 第1回 よりよい学校にするために」の結果の集計

保護者の方には「学校評価アンケート」を、児童には「よりよい学校にするために」を実施しました。児童のアンケート結果を報告させていただきます。

## 「平成26年度 第1回 よりよい学校にするために」の結果

質問項目	低学年				高学年			
	Aそう思う	B大体そう思う	Cあまりそう思わない	Dそう思わない	Aそう思う	B大体そう思う	Cあまりそう思わない	Dそう思わない
学校生活は楽しい	78.5%	11.8%	7.5%	2.2%	59.6%	26.2%	8.7%	5.5%
忘れ物をしない(み)	52.2%	30.0%	10.0%	7.8%	34.6%	41.2%	15.9%	8.2%
そうじをがんばっている(そ)	90.1%	6.9%	3.0%	0%	70.4%	22.2%	5.3%	2.1%
あいさつを元気よくしている(あ)	78.8%	18.2%	2.0%	1.0%	60.5%	26.3%	8.4%	4.7%
時間を守って行動している(じ)	75.0%	18.8%	6.3%	0%	53.5%	28.9%	14.4%	3.2%
学校や学級のきまりを守っている	69.1%	23.7%	5.2%	2.1%	46.0%	35.3%	14.4%	4.3%
友達と仲良くしている	83.0%	11.0%	3.0%	3.0%	75.0%	17.6%	3.2%	4.3%
困ったことがあれば、先生に相談している	56.1%	27.6%	7.1%	9.2%	39.2%	24.9%	15.9%	20.1%
家で、学校での出来事を話している	59.4%	17.7%	9.4%	13.5%	53.2%	19.4%	9.7%	17.7%
授業は楽しい	74.3%	19.8%	4.0%	2.0%	51.8%	28.5%	10.4%	9.3%
授業はよくわかる	69.0%	18.4%	11.5%	1.1%	53.4%	29.5%	11.9%	5.1%
授業中は話をしっかりと聞いている	67.7%	26.0%	5.2%	1.0%	50.5%	35.3%	10.9%	3.3%
授業中は進んで発表している	62.5%	24.0%	11.5%	2.1%	44.3%	22.7%	18.4%	14.6%
先生はわかりやすく教えてくれる	83.3%	11.5%	5.2%	0%	67.0%	23.6%	8.1%	1.1%
朝の読書では、静かに本を読んでいる	88.9%	9.1%	2.0%	0%	76.5%	16.6%	5.3%	1.6%
毎日、家で読書をしている	48.9%	23.9%	13.0%	14.1%	39.6%	21.4%	17.6%	21.4%
ぐんぐんタイムをがんばっている	81.8%	11.7%	2.6%	3.9%	69.9%	18.4%	6.1%	5.5%
毎日、家で予習や復習、宿題などを勉強をしている	73.7%	14.7%	7.4%	4.2%	56.6%	22.5%	12.1%	8.8%



学校生活は楽しい

友達と仲良くしている

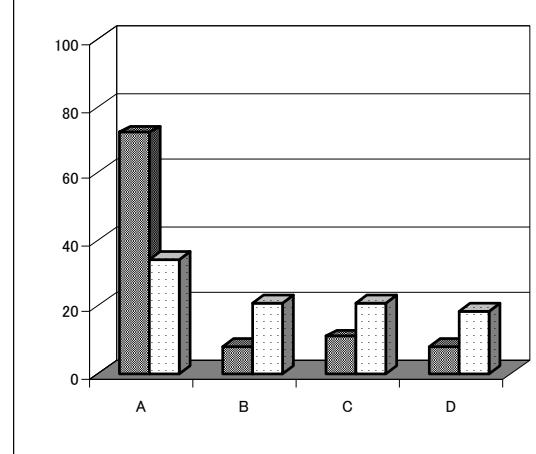
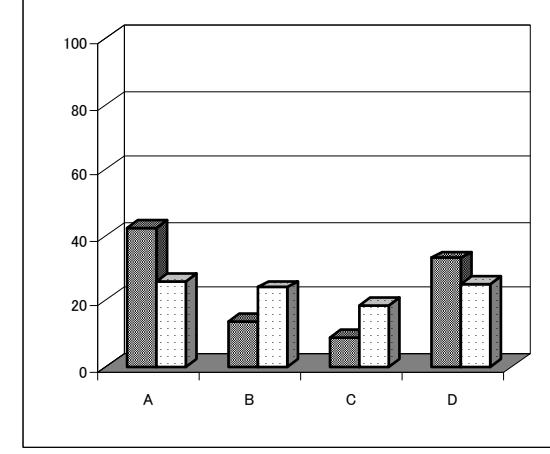
困ったことがあれば、先生に相談している

■…低学年 □…高学年

今回の「よりよい学校にするために」の結果から、例年同様、低学年と高学年を比較すると、全体的に高学年ほど否定的な回答が多くなる傾向が見られました。

ここに掲げましたグラフは、

- ◎ 高学年も低学年も比較的肯定的な回答が多かったもの
- ◎ 高学年と低学年を比較したとき差が大きかったもの
- ◎ 低学年・高学年とも肯定的な回答が少なかったものを掲載しました。



毎日、家で読書をしている

毎日、家で予習や復習、宿題などをしている

### ～ アンケート全体を振り返って～

「学習態度」に関わる項目では、高学年ほど否定的な傾向が顕著に見てとれました。その中でも「授業中は進んで発表している」では、高学年で45%の子ども達が否定的な傾向を示していました(低学年は25%)。また「毎日、家で読書をしている」では、低学年も高学年も否定的な回答が多かったです(低学年42%, 高学年44%)。学校での授業はもちろんのこと、家庭での学習習慣が身につくよう、これからも取組を進めていきたいと思います。昨年度の同時期のアンケート結果と比較すると、高学年で否定的な回答が多かった「困ったことがあれば、先生に相談している」では、13%の改善が見られました。しかし、「時間を守って行動している」では低学年で10%の落ち込みが見られました。これまで高学年で見受けられた遅刻傾向が、低学年でも見られるようになってきているので、今一度、ご家庭でも「早寝・早起き・朝ご飯」の見直しをしていただければと思います。